

平成 25・26 年度 特別支援教育モデル事業研究展開図

- ・ 個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。
- ・ すべての教員は、特別支援教育に関する一定の知識・技能を有していることが求められる。

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」より

小中学校における連続性のある多様な「学びの場」

通常の学級

障害に配慮し、指導内容・方法を工夫した学習活動を行う。

発達障害等の
児童生徒が
6.5%在籍

通級による指導

通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に、各教科などの授業は通常の学級で行い、障害の状態等に応じた「特別な指導」を週に数時間、「特別な指導の場」で行う。

特別支援学級

障害種ごとの少人数学級で、障害の状態等に応じたきめ細やかな配慮に基づいた特別な指導を行う。

連携

連携

通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒への指導・支援の充実が喫緊の課題。

【特別支援教育モデル事業】通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対する指導・支援の方法を研究する。

通常の学級に在籍するすべての児童生徒に対する指導・支援の充実

発達障害等に係る研修の実施

- 特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援教育支援員研修会
- スクールカウンセラー情報交換会
- 特別支援教育指導員による巡回相談・助言
- 特別支援教育研修会
「通級指導教室で行う学習について」
「教室でできる特別支援教育のアイデア」
「特別支援教育を推進させるために」
「教育における平等とは何か」等

「通級による指導」との連携

- 入級・退級システムの作成。
- 「通級指導教室の案内」の通知。
- 通級による指導担当教員と通常の学級担任との連携。
- 個別の教育支援計画の作成。
- 個別の教育支援計画に基づく指導内容・方法の共有化。

指導事例集の作成

「気持ちをコントロールできるように」(例)

- こんな児童です
- 担任の願い
- 通級による指導の実践
- 通常の学級での実践←通級による指導を生かして

主な実践例

- 清須市 「ふわっと言葉がつかえるように」
「文節を区切って音読できるように」
- 豊川市 「話すことを苦手としている生徒への支援」
「読み飛ばしのある児童に対する支援」